予防接種法

保健锂

健康係長・春名美郎

64-1820

2.0 時間

事	業	の	成	果			
	F.	戓	果	指	標	名	
乳幼 三種	児(混)	の子 合、	が ポ	接種 <sup>3</sup> リオ、	軽(9 麻し	6) しん、	風

しん、BCG

接種人数÷对象者数×100

事業の意図 する成果とつ ながる成果指 標を設定

事業の目的、 対象、内容を 考えながら妥 当性を評価

Plan 事業の目的 予防接種の対象者(予防接種の種類により対象年齢が異なる) (誰・何に対して) 感染の恐れがある疾患の発生及び蔓延を予防する (何のために) 事業の意図する成果 (どのような状態に 各種予防接種の受診率が向上することで、疾患の発生及び蔓延を予防し市民の健康が増進する。 したいのか)

根拠法令・例規等

担当課(室)

職・氏名

電話

このシート作成に要した時間

昭和23年

02 健康でやさしさあふれるまちづくり

02 健やかで生き生きしたまちづくり

01 母子保健(歯科保健を含む)

03 予防接種事業

事業の概要 事業開始年度

大項目 基本目標

中項目 基本施策

小項目 施 策

事務事業名

	事業の実績		
	細事業名	事業の説明	優先度
	予防接種事業	各予防接種対象者に対し、予防接種手帳を交付し、予診票の配布や広報、個別通知等で接種勧奨 を行う。接種については、協力医療機関に委託し個別接種にて実施している。 予防接種台帳の整備・管理及び協力医療機関・医師会への委託料の支払い事務を行っている。	
目			
的			
を			
達			
成			
す			
る			
た			
め			
実			
施			
し			
た			
事			
業			

		1	事業	費	等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
$\vdash$	#	直	接	事	業	費	T 122	59,447	94,320	77,541
	事業	必必	要人	員			千円	1.72人 5.712	0.84人 2,971	0.89人 3,847
	未費						十口			•
١	其	事	業	Ė	費	計		65,159	97,291	81,388
決		田	県	支	出	金		7,413	19,858	12,597
22		受	益	者	負	担				
算	財	繰		λ		金	-m			
額	源	市				債	千円			
ых		その	)他(	t ( )		)				
		_	彤	n K	財	源		57,746	77,433	68,791
	受	益	者	負	担し	北 率	%	-	-	-
		結果指標名 単位		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績			
	乳幻	カ児・	児童の	定期予	<b>予防接種</b>	の件数	説明	定期予防接種(四種混合、三種活	混合、二種混合、ポリオ、麻しん	、風しん、MR、日本脳炎、BCG)
結		結	果	指	標	量	件	3,898	4,591	3,563
果指標		対	前	ij	年	比	%	-	117.8%	77.6%
標		活	動	コ	ス	۲	В	65,159,000	97,291,000	81,388,000
		単位当たりコスト		円	16,716	21,192	22,843			

(平成24年度事業)

平成25年度目標値

到達目標値

Check

90

90

平成24年度

90

83.1

92.33%

事務事業の評価 該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください> 市が実施するよう法令で義務づけられている 妥当性評価 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす ABCDE 高も善も 低 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない。 妥市の関与の ハや通やい 高低いい 事業の内容が一部の受益者に偏っている 当 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 要 性 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民ニーズ 市民・団体等から要望・要請が強い 効率性評価 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 高も善も低 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある しか涌やい コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい ス ii ii 受益者負担率は適正である 段 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている 成果指標の設定は適切である 有効性評価 成果指標の到達目標値は達成できそうである ARCDE 高や普や低 成果指標達成率は前年度と比較して向上している ハや通やい 目的達成度 成果指標達成率は80%未満となっている 高低 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 市民参画度 法定事務 ・ 内部管理事務 であり成果は求めにくい В 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している

平成22年度

L22年度(2.430人/2.826人) H23年度(2.189人/2.628人) H24年度(2.072人/2.493人)

90

86

95.56%

成果指標設定の考え方・式や説明

接種可能年齢が90か月未満である予防接種においての接種率の推移を比較、対象者は小学3年生相当の年齢の者としてい

年 度

目標値(A)

実績値(B)

達成率 (B/A)

平成23年度

83.3

92.56%

事業費や受 益者負扣計 率 単位当た リコストに留 意しながら効 率性を評価

## 進行年度(H25年度)の改革改善内容 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 廃止・完了 状 況 予防接種法に基づき対象者に定期予防接種を実施しているが、新たにH25年4月からヒブ、小児用肺炎 球菌、子宮頸がんワクチンが定期予防接種に位置づけられ、またBCG,日本脳炎予防接種の対象者が変 説明 更になった。対象者へ個別通知や広報びぜん、ホームページ等で接種を勧め、関係機関との協力を得 ながら円滑に実施できるように体制を整え接種率向上を目指す。

事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

## 総合評価

予防接種法に基づいた事業で市町村での実施が義務づけられており、感染症予防、公衆衞生の向 上及び増進のために実施する必要がある。予防接種法が改正される中、混乱のないよう接種対象 者や医療機関への情報提供を確実に行い、円滑に実施できるよう努めている。接種機会を逃すこ とのないよう、周知や接種勧奨を頻回に行い接種率を向上させ、予防効果を高める必要がある。

総合評価 ARCDE 高や普や低 ハや通やい 高低いい

В

平成26年度の方向	性・取組目標	]					(Action)
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
万四年							
取組目標	たりしない。		会等の関係機関		対象者が接種の がら接種勧奨を行		

あ業 るの 成目 果的 指や 標そ にの 留数 音值 1,日 な標